

第4回定例会

(可決した議案など)

- 令和元年度一般会計補正予算
主に、次の内容で総額15億7,000万円を補正するものです。
 - ・職員給与など(期末・勤勉手当0.05月分引き上げなど)
 - ・難病患者支援対策費
 - ・札幌駅前通地下歩行空間非常用自家発電設備整備費
- あおり運転の撲滅に向けた対策を求める意見書
など、合計37件の議案などを可決しました。

委員会の主な活動状況

(12/11~1/10)

総合交通政策調査特別委員会
札幌市総合交通計画の改定(案)についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(12/12)

お知らせ

第1回定例会

令和2年第1回定例会は、2/18(火)から3/30(月)まで開催され、各会派の代表質問は、2/25(火)から3日間行われる予定です。
令和2年度の本市の予算について局ごとに審査を行う予算特別委員会では、2/27(木)から開会する予定です。

会議の傍聴

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。本会議は議場傍聴席入り口(市役所18階)へ、委員会は各委員会室(16階または18階)へ直接お越しください。

インターネット中継

本会議や特別委員会の模様をインターネットで生中継しています。会議終了からおおむね5日後(土・日曜、祝・休日を除く)には、録画映像も公開しています。市議会ホームページからご覧ください。

さっぽろ市議会だよりを発行
令和元年第4回定例会の内容を紹介したNo.125を配布中です。

(配布場所)

市役所ロビー・2階市政刊行物コーナー、区役所、まちづくりセンター、北洋銀行など



■編集 札幌市議会事務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai



女性活躍・子育て支援
と定山渓沿線バス料金

ちば なおこ
日本共産党

問 本市においては、女性の活躍に向けた取り組みが進んでおらず、まず市職員から実現していく必要があります。女性が働きやすく、男女共に働きながら子育てできる環境をつくるには、保育所整備など子育て支援が最重要課題です。また、待機児童の定義は、国の定義によるものでなく、実態に合ったものにするべきだと考えます。これらについて、どのように考えていますか。

答 就職相談の充実などを一層進め、引き続き女性の活躍を後押しするほか、本市の女性職員に向けては、改定作業中の「札幌市子育て・女性職員応援プラン」に沿って、その活躍を促進します。また、子育て支援については、策定中の「まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」において、保育定員の拡大や放課後児童クラブの充実などの取り組みを盛り込んでおり、待機児童数は、国のプランなどを踏まえ、施策を行っていることから、国定義による目標値を設定しています。

問 じょうてつバスの札幌駅から硬石山までの運賃は240円ですが、硬石山より先の区間では乗った距離に応じて運賃が上がるため、札幌駅から19.7kmの麻舞までは540円となります。一方、ジェイ・アール北海道バスでは、札幌駅から20.1kmの厚別営業所までの運賃は240円です。こうした地域間の運賃格差は全体的な問題のため、是正に向けて本市が主体的に関わり、バス会社を含め地域住民と継続的に協議するべきだと考えますが、いかがですか。

答 路線バスの運賃は、バス事業者が国から認可を受けた上限内で定めるものであり、市が直接的に関わることは難しいと考えます。



心のバリアフリー推進
と農試公園の改修

もりやま ゆみこ
森山 由美子
公明党

問 市民一人一人が障がいのある方に対する理解を深め、思いやりを持って手を差し伸べる「心のバリアフリー」のさらなる推進に向けて、どのように取り組んでいくつもりですか。

答 援助や配慮を必要とする方への理解が深まるよう、ヘルプマークの周知徹底を進めることが重要だと考えています。また、心のバリアフリー啓発のための新たなシンボルマークを公募し、障がいのある方も含めた選考委員会で選定したところです。今後はこのマークの周知を図りつつ、市民・企業向けの新たな研修の実施、障がいのある方への配慮方法などをまとめた子ども向けガイドブックの配布などにも取り組み、心のバリアフリー推進を図っていきます。

問 西区の農試公園の改修に当たっては、地域や利用者の意見を踏まえ、今ある魅力を大事にした上で、より使いやすくすることが必要だと考えますが、どのような考えで改修を進めていくつもりですか。また、地域や利用者の意見はどのように反映するのですか。

答 改修に当たっては、公園の各エリアが持つ機能を維持しながら、公園全体の魅力を高めることが重要だと認識しています。そのため、老朽化した施設の更新を基本としつつ、駐車場の拡張や各施設の配置・移動経路の改良などを行うことで、より使いやすい公園を目指すこととし、利用者へ周知を図ってきました。今後は、遊具のデザイン選定に際しアンケートを行うなど、地域や利用者の意見を反映しながら、より一層愛着を持っていただける公園を目指して改修を進めていきます。



問 建設候補地について、これまで検討を進めてきた結果、札幌の自然・歴史・文化を体感できる中島公園は交通便利性も高く、周辺地区に大規模MICE施設の建設が決まったことでさらなる集客性が期待でき、市民だけでなく札幌を訪れた方にも、博物館を通じて、札幌の独自性や魅力への理解を深めていただけると考えます。こうしたことから、中島公園が建設候補地としてふさわしいと考えたところであり、今後、整備・管理運営手法などの検討を進めていきます。

要保護児童対策地域協議会の強化とニーズに応じた介護保険サービス

なかむら 中村 たけし

民主市民連合



問 令和元年6月、中央区で2歳女児が実母とその交際者からの身体的虐待およびネグレクトによって衰弱死するという大変痛ましい事案が起きました。リスクのある家庭に対しては、関係機関が常に情報を共有し協働で支援に当たることが重要であり、このための枠組みである要保護児童対策地域協議会(要対協)の最大限の活用に向けて、どのように体制を強化していくつもりですか。

答 要対協でのリスク情報の共有を徹底するよう関係部署間で再確認するとともに、家庭児童相談システムや母子保健システムなど各部署のシステムを改修することなどにより、情報連携の見直しを進めています。今後、各区の要対協の事務局を担っている家庭児童相談室の体制を拡充するとともに、児童相談所と家庭児童相談室が一層連携して要対協を運営できるよう組織・機構を見直すことで、機能強化を図ります。

問 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、心身の状態や生活状況など、それぞれのニーズに応じた支援が必要です。また、高齢化のさらなる進展や、高齢者のみの世帯の増加が見込まれる中で、介護保険サービスは必要不可欠であり、そのニーズは多様化していくと思われます。今後の介護保険サービスの提供について、どのように考えていますか。

答 多様なニーズに応じた介護保険サービスの提供は、大変重要だと認識しています。介護保険サービスは、3年に1度、計画を見直し、必要量の見直しを立てて進めています。間もなく実施する市民アンケートや統計データなどをもとに、より細やかに実態を把握し、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、引き続き、ニーズに応じた介護保険サービスの提供に努めていきます。



市議会の動き

11月28日に招集された第4回定例会の中から、12月4日、5日の代表質問の主な内容や、可決した議案などについてお知らせします。

丘珠空港の防災機能強化と(仮称)札幌博物館の建設候補地

おだ まさひろ
小田 昌博

自由民主党



問 平成28年8月に台風で道内の鉄道や道路が大きな被害を受けた際や、平成30年北海道胆振東部地震で新千歳空港が被災した際、丘珠空港が代替機関として活躍したことは記憶に新しく、本市が昨年実施したアンケート調査の結果でも、丘珠空港の重要な役割として期待されています。災害はいつ発生してもおかしくないという認識を持ち、丘珠空港の防災機能の強化について、スピード感をもって進めるべきだと考えますが、いかがですか。

答 丘珠空港は、本市ひいては北海道の防災を考える上で、極めて重要な役割を担うものであり、その防災機能の強化は積極的に取り組むべきものだと考えています。令和2年の春をめどに取りまとめる丘珠空港の将来像の案において、防災機能の強化を柱の一つとするとともに、防災の重要性や緊急性を考慮し、必要な施策を行ってまいります。



問 ふるさとへの愛着と誇りを育み、札幌の独自性を国内外に発信する(仮称)札幌博物館の整備については、市長の公約において検討を推進するとされています。今後、具体的な検討を進めるに当たっては、建設候補地を明確にする必要があると考えますが、(仮称)札幌博物館の建設候補地について、どのようにお考えですか。